

今、考えてほしいこと。

連日報道される、新型コロナウイルス感染のニュース。南部中学校でも、これまでも増して感染予防に取り組んでいきたいと考えています。8月24日は各教室で放送による始業式のあと、自分たちはどんな心構えで過ごすべきか考えました。「恐れるべきはウイルスであって人ではない。」けっして感染に対する差別やいじめがあってはなりません。ここに紹介する作文を読んで、今一度差別や偏見をしない決意を新たにしましょう。

新型コロナウイルスによって差別や誹謗中傷を受けている人が多くいると知り、改めて人との関わり方を見つめ直さなければならないと思いました。コロナウイルスの感染拡大によって苦しい思いをしている人を尊重し、みんなが手を取って協力できる世の中になるよう、まずは自分の行動を見直したいと思いました。

私はコロナにかからないように、みんなにうつさないように、暑くてもマスクをしたり、こまめに消毒をしたり、手を洗ったり、換気を自分からすすんで行っていきたいなと思いました。他には、本当かうそか分からないようなうわさなどで、差別をしたり、いじめをしたりせずに、そのうわさを自分が聞いたとしても、まわりに広げずに、その人のことを思って行動したいなと思いました。

自分が正しい行動をすることによって、他の人がまねできるような人になろうと思いました。

「差別」「誹謗中傷」「いじめ」を受けている方がいると聞いて悲しくなりました。関係のない人を偏見などで決めつけてはならないと思いました。今、最先端で戦っている医療従事者をバカにしたり、差別したりする意味が分かりません。僕は応援しようと思います。差別などをしないよう気をつけます。

夏休みが明け、2学期が始まるのと同時に小松市が感染拡大しているのを知り、友達と会う喜びとともに感染することへの心配がうまれました。少しでも手洗いや消毒を心がけて、1学期と同様に感染しないように努力したいです。また、コロナウイルスの影響で差別やいじめがあると知りました。あいまいな情報や小さなうそからその人を避けたり、差別的な行動をとったりすることで、悲しい思いをさせてしまうと分かりました。不安や恐れから、誤った情報などを信じないようにしたいです。

新型コロナウイルス感染症の感染を防止するためには、一人ひとりの意識が大切だと思いました。例えば、3密（密集・密接・密閉）をさけることや、ソーシャルディスタンスを意識して、人と人の距離をあけることなどです。その一人ひとりの意識があれば、何人もの感染を防ぐことができると思います。僕もこれらのことを意識しながら、新しい生活様式を取り入れていこうと思いました。また、コロナウイルスが流行していることで、差別や誹謗中傷があることを知りました。そのようなことが起きないように、お互いを尊重し合うことが大切だと思いました。

新型コロナウイルスがこわいのであり、人がこわいわけではないと思いました。感染者の身近な人が差別を受けたり、誹謗中傷を受けたりすることはおかしいと思います。医療従事者には、感謝の気持ちを持ちたいです。自分たちにできることは手洗い・うがい、マスク、換気、密を避けるなど、たくさんあります。だから、これらのことに気をつけて生活したいと思いました。



休校期間があったので、夏休みは例年と比べてすごく短かったです。でもその分、はやく友達に会えることや、学校に行けることなど、良いこともありました。何事もとらえ方によって変わると思いました。今年はいつもとちがう年だけど、先生方が工夫して行事を考えてくれているので、その思いを受けたいと思いました。2学期の生活について、集団の中の自分はどうか、戦争がなければ平和なのかをよく考えて行動したいと思いました。一人がみんなにできること、みんなが一人のためにできることを広げていきたいです。

これからもうそをつかずに生きていきたいです。2学期は1学期より、授業を真面目にすることです。夏休みが16日間しかなく、すごく少なかったです。平和集会には出られなかったけど、平和にするためには、一人ひとり優しくすることだと思います。そして、またたくさんコロナ感染者が出始めて、誹謗中傷がでるのはおかしいと思います。感染者がではじめたからこそ、なくさめたり、応援したりしていけると良いと思いました。

コロナウイルスに対して、今できることはマスクをつけること、人との距離を保つこと、手洗い・うがいすることなどだと思います。マスクをしていると暑いときもあるけれど、自分の少しのがまんが感染拡大防止につながると思っています。今、この状況でいろいろうわさがあると思います。例えば「あそこに住んでいる人がなったらしいよ」と、本当か分からないのにコロナの疑いを向けることです。もし、そのようなうわさを聞いたとしたら本当か分からないので他の人に言いふらさないことが大切だと思います。コロナウイルスになった人、身近にいる人に対して、差別や偏見をなくしていくことがこれからの社会に必要なことだと思います。



コロナに対し、今自分ができるとは、暑くてもしっかりとマスクをし、消毒もしっかりとすることです。石川県でもコロナウイルスに感染した人がたくさん出てきました。これだけ多くの方がコロナウイルスになっているということは、自分や友達がなってもおかしくはないので、しっかりと気持ちをひきしめていきたいです。また、このコロナで治療をしてくれている人たちには感謝したいです。これからも家に帰ったら手洗いやうがいをしっかりと、予防できるようにがんばりたいです。

私はこれ以上コロナで苦しむ人が増えないよう、一人ひとりがしっかりと感染予防をし、外出をできるだけしないように気をつけたいと思います。また、コロナで苦しんでいる人や家族に対する差別やいじめは絶対にはあってはならないことだと思います。小松市も最近は感染者が増えてきて、特にクラスターが多い気がするので、とても心配です。全員が少し我慢するだけでも、感染拡大の防止につながると思います。一人ひとりが命の大切さを学び、世界の人たちが笑顔で暮らせる生活に戻りたいです。

今、とても暑い状況でマスクをつけると息苦しいこともあります。「誰かを守るため」「コロナを終わらすため」と考えてマスクをつけようと思います。コロナだからといって差別するのは絶対にダメなことだし、差別する環境をつくらないようにしなければならぬと思います。こんな時だからこそ助け合って、コロナを1日でも早く終わらせられたらと思います。自分でも感染につながらないか意識して自分を守っていきたくと思います。この2学期は例年とちがうけれど、勉強も部活も充実した学校生活にしていこうと思います。



今私にできることは、手洗いやうがい、消毒などはもちろん、不要な外出はしないことだと思います。

マスクもしっかりとすることが大切だと思います。また、してはいけないこともあると思います。コロナウイルスに感染した人に対する差別や誹謗中傷です。もし自分がそういう立場になったら考えて行動していきたいです。一人ができることは小さなことでも、それを積み重ねれば最後には大きな力になると思います。そして、医療従事者や最前線で働く人々に感謝したいと思いました。

今自分がしなければならないことは、マスクをつけ、こまめに手洗いをし、密にならないようにすることだと思います。してはならないことは、差別やいじめだと思います。「あなたのせいで感染が広がるだろう」「あなたも感染者じゃないの？」などと勝手に決めつけるのは、とてもひどいことだと思います。

私が大切にしたいことは、命を守る行動をとることと、差別やいじめをしないことです。2学期も、このことを心がけていきたいです。

自分のことだけでなく、ほかの人のことも考えることが大切だと思います。私はいつも自分が感染したくないと思いつつ生活していたけど、感染したくないというのはみんな同じ気持ちなので、自分勝手な行動はしてはいけないと改めて思いました。今自分にできることは、手洗いや、外出を控えるなどという小さなことだけれど、それがこれから先のためにもなると思うので、続けていきたいです。